



LET'S PLAY Indiacca

www.japan-indiacca.com

No.40

2017.12

〒101-0061

東京都千代田区三崎町2-20-7

水道橋西口会館内

TEL:03-3512-2801

FAX:03-3512-2802

E-mail: JIA@japan-indiacca.com

Japan Indiacca Association



一般社団法人 日本インディアカ協会

第12回ミレグラ杯全日本シニアインディアカ大会結果

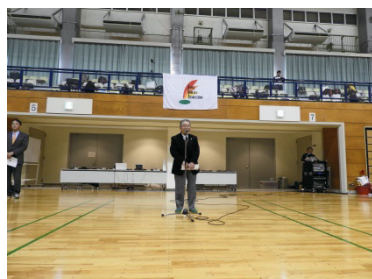
第12回ミレグラ杯全日本シニアインディアカ大会は2017.11.5(日)埼玉県桶川市の桶川サンアリーナで開催されました。

クラスA女子38の部、クラスB男女混合38の部は、2年後の世界選手権大会の予選を兼ねた大会であり、世界を目標にハイレベルの戦いが繰り広げられ、愛知県の飛翔クラブと埼玉県のプラスワンが熱戦を制し優勝しました。その他のクラスでは各コート毎に、女子、男女混合のそれぞれのクラスC女子45、クラスD男女混合50、クラスE女子50、クラスF男女混合50、クラスG女子60、クラスH男女混合60のコート毎に交流とふれあいの輪が広がりました。参加された66チーム(約400名)選手の皆様、遅い時間まで本当にお疲れ様でした。

尚、来年の第13回大会(2018.11.18)は茨城県龍ヶ崎市総合体育館「たつのこアリーナ」で開催される予定です。

第12回全日本シニアインディアカ大会結果

クラス	第1位	第2位
クラスA女子38 (世界選手権予選の部)	飛翔クラブ 愛知県	ASHURAN 奈良県
クラスB男女混合38 (世界選手権予選の部)	プラスワン 埼玉県	フレッシュクラブ 千葉県
クラスC女子45	ウィークエンド 静岡県	ABYSS雅 千葉県
	日越クラブ 新潟県	ガッツ 埼玉県
クラスD男女混合45	ナイン 埼玉県	鷹岡WING 静岡県
	ゴロピカリ 群馬県	チアフルズ 茨城県
クラスE女子50	ABYSS葵 千葉県	CIAO! 東京都
	アリス 愛知県	すずらん 千葉県
クラスF男女混合50	黒鷲 埼玉県	みのりスマイル 茨城県
	ひまわり 埼玉県	トムソーヤ 東京都
クラスG女子60	ブルーエンジェル 埼玉県	北道原 静岡県
クラスH男女混合60	赤い鳥 千葉県	ならやまクラブ 奈良県





**クラスA女子38 優勝
「飛翔クラブ」 愛知県**

私達は、今回のミレグラ杯を大変楽しみにしておりました。ポーランドで開催されたワールドチャンピオンシップに出場し、初めての海外遠征は人生の中で最高レベルの思い出になりました。世界選手に立ち向かう日本人選手は、コート上でたくましくその姿に胸が何度もこみ上げました。私達の結果は3位で大満足でしたが、準決勝でフルセットの末、負けてしまった悔しさが残り、今回エントリー一致しました。世界をもう一度目指すための第一歩です。どのチームも年齢を感じさせないアグレッシブなプレーと技術力、チーム力でした。厳しい対戦の中で優勝できましたので本当に嬉しかったです。



**クラスB男女混合38優勝
「プラスワン」 埼玉県**

埼玉県のプラスワンです。ミレグラ杯への参加は、今年で5回目となります。同世代のライバル達と戦うこの大会は、負けられない相手ばかりで、予選から力が入る試合が続きました。そして、決勝の相手は、ポーランドで共に日本代表として戦ったフレッシュクラブさん。羽根の落ちない粘りのインディアカで、昨年の雪辱を果たすことができました。私達の目標である、世界大会に一步近づく事ができました。このチャンスを活かせるよう、これからも頑張っていきたいと思います。

裏話

この大会で全国から新たにA級審判員6名の受講者が実技・筆記試験にチャレンジしていました。結果は、後日判明。

★ JIA事務局からのお知らせ ★

◆2017年度認定員・公認審判員研修会、認定講習会日程

日 程		2018年2月18日(日)	2018年3月18日(日)
会 場		国立女性教育会館(埼玉県)	愛知県青年の家
事業名	公認A級審判員研修会	○	○
	公認B級審判員研修会	○	○
	認定員研修会	○	○
	公認指導者移行講習会	○	×
	公認上級指導者認定講習会	○	×
日 程		2018年2月17日(土)～18日(日)	2018年3月17日(土)～18日(日)
事業名	公認B級審判員認定講習会	○	○

◆更新案内

現在お持ちの会員証、審判員証、指導者証の有効期限をご確認ください。
有効期限が2018年3月31日に切れる方は所属の地域インディアカ協会でも更新手続きを行ってください。
詳細につきましては所属の地域インディアカ協会より連絡が入ります。

◆JIA事務局住所町名変更のお知らせ

変更実施日:平成30年1月1日
変更前:東京都千代田区三崎町2-20-7 水道橋西口会館7階
変更後:東京都千代田区神田三崎町2-20-7 水道橋西口会館7階
なお、郵便番号、電話番号等は変わりません。

第71回レクリエーション大会 in北海道兼第40回全国インディアカ大会開催！

- 1.日 時 2017年9月17日(日)9:00～17:00
- 2.会 場 北斗市総合体育館
- 3.参加者 181名
- 4.種目別参加チーム数及び優勝チーム

・一般男女混合	7チーム	なわて(大阪府)
・シニア男女混合	7チーム	どんだんず(青森県)
・シニア女子	10チーム	大衝ききょう(宮城県)
・スーパーシニア男女混合	10チーム	SKC(岐阜県)

大会当日、日中は穏やかな天気でしたが閉会式直後、台風による避難準備のエリアメールが鳴り響き、その後体育館は避難待機場所になりました。台風は夜中に函館に上陸し、次の日の飛行機、JR、バスは午前中運休になり、参加者は大変な思いで帰られたと思います。ご参加ありがとうございました。
☆☆北海道インディアカ協会事務局☆☆

インディアカルール Q&A

このたびのQ&Aは、ルール(2017年9月1日付施行)の運用について解説します。

1.「競技服に番号を胸部・背部に表示していない場合は、競技に参加することはできないのでしょうか？」

【解説】

競技服並びに番号は、チーム並びに競技者を明確にするものです。競技会(大会)に参加しようとするチームは、事前に競技者番号をルールに従い付けなければなりません。

2.「アタックしたインディアカボールが、相手側の監督に当たった場合の対応を教えてください。」

【解説】

コート内の空間にある監督の身体にインディアカボールが触れた場合は、競技の進行を妨げる行為として、アタックをしたチームの得点となります。また、コート外の空間にある監督の身体に触れた場合はアウトオブバウンズ、アタックの失敗となります。

3.「主将、監督、コーチ、マネージャー、を明確にする印等については規定がありませんが、審判を行う際には、判別できるマークが有った方が良いと思いますがルール化することはできませんか？」

【解説】

ゲーム参加者の中に監督・コーチ・マネージャーの登録が多くみられるようになってきた現在。ベンチコントロールをスムーズに行うためにもチームでの自主的のマーク付けを習慣づけていただきたい。また、マークを付ける位置についても、キャプテンマークは上腕、監督・コーチ・マネージャーマークはワッペン型を胸としたい。

4.「記録員がいない場合のサーバー順の確認について、許される対応方法がありますか？」

【解説】

サーバー順の記憶は、主審・副審の役割です。しかし、帯同審判員制で行われている今日、とても難しい面もあります。記録席を設けることは出来なくても、ローテーションのみを確認する人員を置く、得点係にローテーションの確認を補助してもらうなどで対応してください。線審がローテーションを確認している地区もあるようですが、線審の任務や位置を考えれば、望ましいことではありません。

～ワールドチャンピオンシップ in ポーランド～

5th Wch.で銀2、銅2の快挙！

今夏開催された“5th Indiacca World Championships in Lozogi / Poland”において、日本代表6チームは、素晴らしい力を発揮し、4チームがメダルを獲得するという快挙を成し遂げた。

言葉によるコミュニケーションもままならず、応援も少ないアウエーの中で、体格の差を跳ね除け、ゲームに集中し、最上のチームワークで他を圧倒し、挙げた成績は見事であった。

中でも、シニアチームの活躍は群をぬいており、シニア女子銅メダル、シニア男子銀メダル、シニア男女混合銀メダルと世界制覇は手の届くところに来ている。シニア男女混合の決勝戦は、世界大会の歴史に残る熱戦でありました。第一セットを25対19で先取した日本は、第二セットも優位にゲームをすすめて、だれもが日本の優勝を信じていた。が、しかしセットはジュースに縋れ込み、一進一退を繰り返し38対40でこのセットを失ってしまい、第三セット疲れも、集中力も限界に達し19対25でドイツに優勝をさらわれてしまった。

このゲームの盛り上がりは、ものすごいもので、世界がドイツと日本の二つにわかれての応援で一打一打に上がる歓声は館内に轟わたっていた。

このゲームを見る限り、日本のレベルは、世界的で世界制覇をするのは時間の問題であるとの認識を強く持った。

また、過去一度もメダルを獲得できなかった女子、特にシニア女子が銅メダルを獲得したこともまた大きなニュースとなった。日本のインディアカチームにとって、欧州との身長差は大きな課題でこれを乗り越えるための努力を長い間繰り返し行っている。今回、シニア女子が先輩たちの思いを、銅メダル獲得という形で表すことが出来た。

さらに、一般男女混合も各国が花形選手を投入している中で、見事銅メダル獲得という栄誉を勝ち取り気を吐いた。今回、日本チーム全体が大きな一歩を踏み出し、全体がレベルアップしてきたということが実感できた印象の強い大会であった。

世界大会は、これからも続きます。次こそは世界制覇を目指すチームの台頭を期待してやみません。

☆☆ JIA会長:押塚 登貴夫 ☆☆



☆☆☆ワールドチャンピオンシップ大会観戦記☆☆☆

5th Indiacca World Championships in Lozogi / Polandは2017・8・7(月)～12(土)開催され、参加国はベルギー、エストニア、日本、ドイツ、ルクセンブルク、ポーランド、スイスの7か国。

第1日目、各国選手の練習の後、選手、役員は会場であるポーランド北部ロゾギ市の公立学校の体育館に隣接する野外地場まで行進し、開会式に参列し澄みきった青空の下、小中学生のダンス等の演技があった。

式の途中で押塚JIA副会長と瀬戸技術委員長が功労者として表彰された。多数の市民も参加した素晴らしいセレモニーだった。夜はウェルカムパーティーで各国選手間で更に交流を深めた。

2日目から4日目は各予選が行われた。5日目セミファイナル。シニア男子、シニア男女混合は決勝進出！

女子 すずらん/マッドマックス/プラスワン 5位。「前回も出場。マッドマックス、すずらん、プラスワン混成チームで充分練習ができなかった。しかしゲームは楽しかった」**男子** すずらん4位。「日本と比べてコートが大きく5人制、ネットが高く半年くらい練習したが慣れれば互角に戦える。次の機会に希望をつなきたい」**男女混合** すずらん 銅メダル「ドイツは強く、体力がなくて負けた」**シニア女子** 飛翔 銅メダル「メダルを獲れたのはチームが一致団結した賜物だと思います。うれしい！」

6日目決勝戦 **シニア男女混合** プラスワン/フレッシュクラブ 銀メダル「ファイナルの中でゲームができて良かった」**シニア男子** プラスワン/フレッシュクラブ 銀メダル「次こそ金メダル！！」

日本は4種目のメダルを獲得して、素晴らしい試合をした。この勢いを2019年ベルギー開催につなげることを期待したい。

☆☆広報委員:長谷川 忠信☆☆